

目標達成計画

作成日：平成 24年12 月 23日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1	法人の基本理念とグループホーム独自の理念をかかげているが、グループホーム独自の理念に対して、どのように実践につなげて行くか模索している。	職員全員が日々お世話をする中で、理念を意識し、目標を持ち介護の仕事に取り組むことができる。	理念について話し合う。各職員が理念について目標を持ち仕事に入る、理念について実践できたか業務日誌に記録を残していく。理念を意識し仕事をする事で理念の共有ができていく。	2ヶ月
2	3	運営推進会議は2ヶ月毎に開催されているが、家族、職員については限られた人たちの参加になっている。苑に係わる人達全体で取り組む必要がある。	運営推進会議に家族全員が参加されるようにする。職員全員が運営推進会議の意味を理解し自分たちの事として捉えられる。	家族にアンケートを出し、運営推進会議に1年を通じ参加出来ない月を聞き、参加の計画を立てていく。運営推進会議で2ヶ月間の状況の報告は各職員で行う。	6ヶ月
3	6	運営に関する家族等の意見をアンケートなどで聞いているが、意見を述べられる方が少ない現状である。	家族全員の方がいろんな意見を言える状況をつる。	ご家族に出して頂くアンケートの内容を具体的に細かく書いて発言しやすいものにする。看取りについても意見をいただく。	10ヶ月
4	18	散歩、ドライブなど日常的に行なっているが、個別支援を充実する必要がある。	本人の希望を把握し、希望に応じていく。	シートを1枚作り、職員がふれあう中でその方の思い、希望、得意なこと、昔のなじみなど知り得た情報をその都度記録する(らしさ、シート)。担当者会議で検討し実施していく。	12ヶ月
5	13	災害対策について、夜間時の自主訓練やシミュレーションを行っていない為不安がある	いかなる災害に対しても対応出来る心構えが出来るよう、あらゆるシミュレーションで自主訓練する。	まずは夜間を想定した自主訓練を行い、気がついた事など出し合う。	6ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。